

## 『JFA 8人制サッカールールと審判法』修正案

**P 3 競技のフィールド**

②**大きさ** 縦60～68m×横40～50m

※ 対象年齢に応じて幅をもたせる。

④**ゴール** 5m×2.15m（少年用ゴール）を使用する。

**P 5 競技者の数**

キックオフ時に6人以上（うち一人はゴールキーパー）いることが試合成立の条件とする。

③にかかわって、ハーフタイム時の交代については、退く競技者はそのままベンチに戻り、交代要員は自チームのベンチ前から入場することとする。

また、ゴールキーパーにかかわる交代に関しては通常と同じように、事前に主審に告げ、アウトオブプレー中に行う。

**競技者の用具**

『サッカー競技規則 2014/2015』のP21『第4条 競技者の用具』に準ずる。

ただし、育成年代の選手として様々なポジションを経験させることの重要性から、ゴールキーパーとフィールドプレーヤーの交代の際のユニフォームについては、以下のように確認する。

**フィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合**

他チームと色の重複のないサブユニフォーム、またはビブスでもよいこととする。

**ゴールキーパーがフィールドプレーヤーを行う場合**

他の選手と重ならない番号、あるいは番号なしのユニフォームでもよいこととする。

※いずれの場合も、シューズ、ストッキングに関しては、そのままでも構わない。

※その選手の把握は、登録された固有の番号で行う。

**PK戦の際、フィールドプレーヤーがゴールキーパーと代わる場合**

GKとなるフィールドプレーヤーは、固有の番号が付いたGKユニフォームか、サブユニフォームを着用する。

**P 6 試合時間**

試合時間は、各大会の開催要項『競技方法』に準ずる。

**その他、札幌地区での確認事項****めがねについて**

目が悪い選手にも、自分自身の力量を十分に発揮できる機会を与えるという見地から、認めるものとする。

**キャップについて**

日差しが強い中の試合において、ゴールキーパーのみ、主審の承認を得たうえで認めることとする。

**アンダーウェアについて**

ユニフォームの袖の主たる色と同色のものが望ましいが、違う場合でも、チームとして揃っていれば認めるものとする。

※これらの確認事項は、札幌地区独自のものであり、全道・全国、又は他地区の大会に参加する場合は、開催要項、又は、審判委員長の判断に従っていただきたい。なお、めがねについては、2007年度に北海道サッカー協会審判委員会の見解として以下のように示されている。

（参考）道審判委員会の見解

《考え方》

- 1、サッカーの競技規則に則った判断をする。
- 2、小学生のようにコンタクトレンズの着用が生理的に認められない者からサッカーの機会を奪わない。
- 3、めがねの危険性については「ガラスのレンズでないこと。フレームや柄などが折れ鋭利な状態にならない素材であること。自他共に傷つける可能性が低いデザインであること。」と理解する。（以下略）